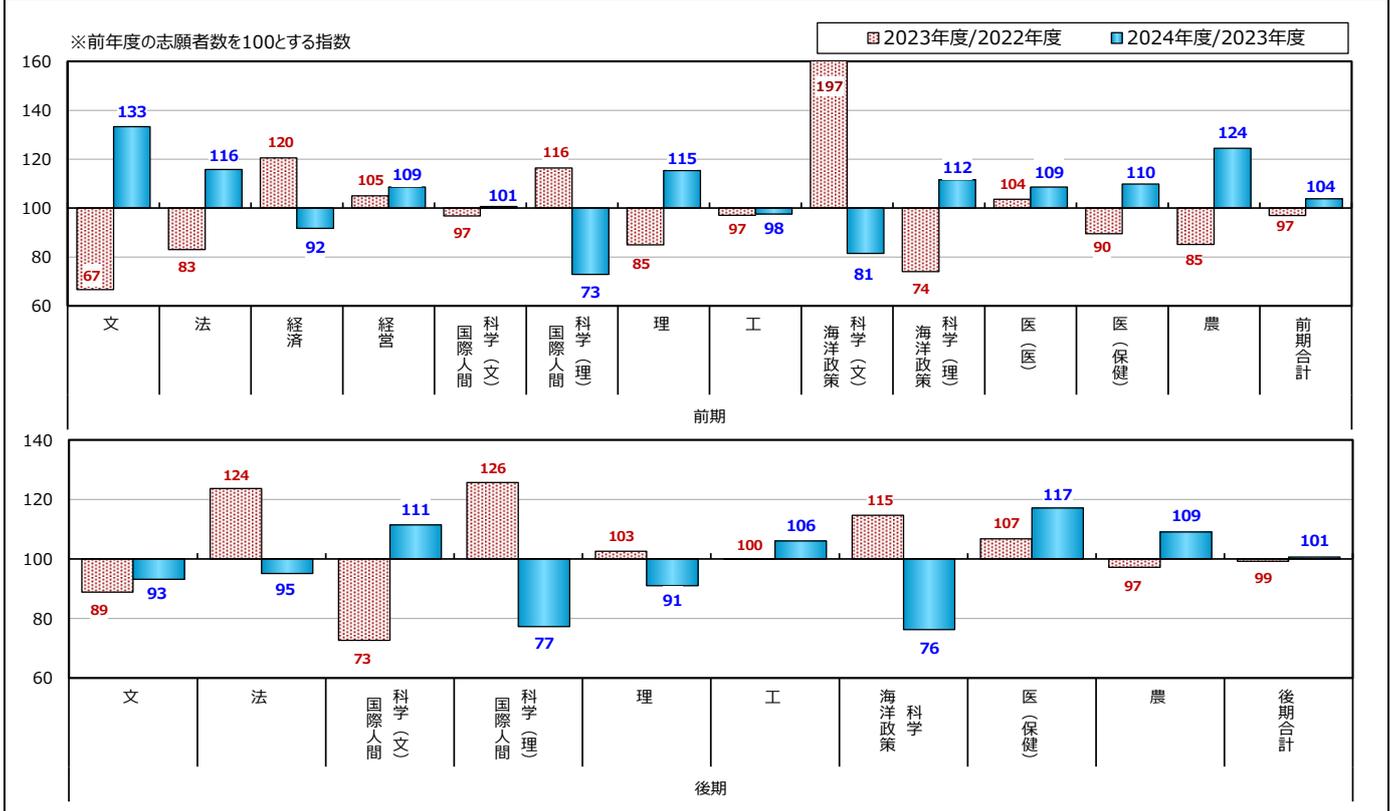


神戸大：前期は上位大からの志望変更先となりやや増加、後期は前年度並 前期：+225 人 後期：+26 人



主な入試変更点	募集人員：工(応用化)…<前>85人→73人、<後>18人→30人 (機械工)…<前>88人→71人、<後>13人→30人 共通テスト：工(応用化)<前>…配点変更、理の選択科目変更 ：国<125>+歴公<75>+数2<50>+理2<50>+外<75>=総点<375> ※理：(物 or 化 or 生)→2 →国<50>+歴公<50>+数2<50>+理2<50>+外<50>=総点<250> ※理：物+化 個別試験：工(応用化)<前>…配点変更：数<150>+理2<150>+外<125>=総点<425>→数<200>+理2<200>+外<150>=総点<550> 医(看護)<前>…面を追加：数+理+外→数+理+外+面
----------------	--

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は大阪大からの志望変更による慎重な出願の受け皿となり、225人(104)のやや増加で3年ぶりに増加。文理別では、文系は87人(103)のやや増加で2年連続増加、理系も138人(104)のやや増加で3年ぶりに増加。後期は26人(101)の微増で3年連続前年度並、志願者数は4年連続ほぼ4,000人で変化が小さい。文理別では、文系は10人(101)の微増、理系は16人(101)の微増で、いずれも前年度並。

<前期日程>

- 文(133)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加、2020年度以降前年度の反動による大幅増減が継続。
- 法(116)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加、2020年度以降前年度の反動による増減が継続。
- 経済(92)**は、前年度大幅増加の反動で減少。方式別では3方式全てが減少。募集人員が160人と最多の(総合)(95)は前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。募集人員が30人の(英数)(49)は半減以下で志願倍率も1.4倍→0.7倍と1.0倍を下回った。同じく、募集人員が30人の(数学)(83)は2年連続大幅減少で志願者数は3年ぶりに募集人員と同数の30人。
- 経営(109)**は、前年度やや増加に引き続き増加、志願倍率は6年ぶりに4倍を上回った。
- 国際人間科学(97)**は、やや減少で3年連続減少。募集単位別では、(環境共生(文科系))(140)は2年連続減少の反動で大幅増加、志願者数は3年ぶりに60人を上回った。(グローバル文化)(103)は前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。一方で、(環境共生(理科系))(73)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。(子ども教育)(85)は大幅減少で2年連続減少。(発達コミュニティ)(97)は前年度大幅増加した反動は小さくやや減少。
- 理(115)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、前年度とは逆に5学科中4学科が増加。(化学)(180)は2年連続減少の反動で激増、志願者数は募集人員が24人となった2017年度以降では最多。(物理)(113)は2年連続減少の反動、(数学)(113)は前年度大幅増加の反動でいずれも増加。(惑星)(101)は前年度大幅減少の反動はなく前年度並。一方で、(生物)(81)は2年連続増加の反動で大幅減少。
- 工(98)**は、微減だが2年連続減少。志願者数は2年連続で1,600人を下回った。学科別では、(応用化)(160)は募集人員が12人(14%)減少したが前年度大幅減少した反動で激増。(電気電子工)(117)は4年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(市民工)(69)は大幅減少で5年ぶりに減少。(情報知能工)(73)は大幅減少で志願者数は4年ぶりに300人を下回り、志願倍率も4.0倍→2.9倍にダウン。(機械工)(87)は募集人員が17人(19%)減少した影響もあり減少だが、志願倍率は3.4倍→3.7倍にアップ。(建築)(94)は前年度減少に引き続きやや減少。
- 海洋政策科学(102)**は、2年連続減少の反動はなく前年度並。方式別では、(理系科目重視型)(112)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(文系科目重視型)(81)は前年度ほぼ倍増の反動で大幅減少と文理で対照的。

- 医(医)(109)**は、前年度やや増加に引き続き増加。志願倍率は5年ぶりに3倍を上回った。共通テスト360点：個別試験450点と比較的共通テストの比重が高く、共通テストの平均点がアップしたことも影響。
- 医(保健)(110)**は、2年連続減少の反動で増加。専攻別では、前年度とは逆に4専攻中3専攻が増加、(保健/検査技術科学)(121)は2年連続減少の反動で大幅増加、(保健/作業療法学)(115)は大幅増加で2年連続増加、(保健/看護学)(108)は2年連続大幅減少の反動で増加。一方で、(保健/理学療法学)(93)はやや減少で2年連続減少。
- 農(124)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加、志願者数は8年ぶりに370人を上回った。学科・コース別では、6学科・コース中、5学科・コースが増加、特に、(資源生命科学/応用動物学)(172)は前年度大幅減少の反動で激増、(食料環境システム/生産環境工学)(146)、(食料環境システム/食料環境経済学)(141)はいずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加、(資源生命科学/応用植物学)(134)は大幅増加。一方で、(生命機能科学/応用機能生物学)(83)は大幅減少で2年連続減少。

<後期日程>

- 文(93)**は、やや減少で3年連続減少。
- 法(95)**は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。
- 国際人間科学(106)**は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。募集単位別では、(グローバル文化)(125)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(環境共生(文科系))(109)は前年度大幅減少の反動で増加、(子ども教育)(107)は前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。一方で、(環境共生(理科系))(77)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(発達コミュニティ)(87)は減少で2年連続減少。
- 理(91)**は、3年連続増加の反動で減少。学科別では、(化学)(125)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。(物理)(101)は2年連続減少の反動はなく前年度並。一方で、(惑星)(62)は2年連続増加の反動で大幅減少、(生物)(67)は前年度激増の反動で大幅減少、(数学)(96)は前年度増加の反動は小さくやや減少。
- 工(106)**は、やや増加。学科別では、6学科中4学科が増加、(市民工)(134)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(機械工)(123)は大幅増加で3年連続増加、ただし募集人員が17人(131%)増加で志願倍率は19.9倍→10.6倍にダウン。(応用化)(115)は大幅増加で2年連続増加、ただし募集人員が12人(67%)増加で志願倍率は12.0倍→8.3倍にダウン。(建築)(105)はやや増加で2年連続増加。一方で、(情報知能工)(83)は大幅減少で2年連続減少、(電気電子工)(94)は4年連続増加の反動は小さくやや減少。
- 医(保健)(117)**は、大幅増加で2年連続増加。専攻別では、(保健/看護学)(125)は2年連続減少の反動で大幅増加、志願者数は募集人員が6人となった2020年度以降では最多。(保健/検査技術科学)(120)は2年連続大幅増加。一方で、(保健/理学療法学)(88)は減少。
- 農(109)**は、3年連続減少の反動で増加。学科・コース別では、(資源生命科学/応用動物学)(164)は4年連続減少の反動で大幅増加、(食料環境システム/食料環境経済学)(118)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(生命機能科学/応用生命化学)(109)は2年連続減少の反動で増加、(資源生命科学/応用植物学)(106)は前年度大幅減少の反動は小さくやや増加、(生命機能科学/応用機能生物学)(100)は前年度40%以上の大幅増加の反動はなく志願者数は前年度と同数。一方で、(食料環境システム/生産環境工学)(77)は2年連続増加の反動で大幅減少。